



完成した山内バイパスを空から望む
左 佐世保市へ 上 伊万里市へ 右 武雄市へ

19

1989.8



名誉会長・正副会長の鏡わり

の音頭でスタート。
アトラクションに入り、藤
間流「豊知恵」豊和会社中の

袋に一杯、会員のみなさんも
笑顔で帰路につきました。

井上ひさおさんによる童謡合唱



豊和会のみなさんのおどり

総会に引きつづき懇親会に
移り永倉名誉会長・金子会長
簡井副会長・大串副会長によ
る鏡割り、中牟田顧問の乾杯

皆さんによる舞踊の競演に
うつとり、つづいてKBCラ
ジオ歌のおじさん井上ひさお
さん(十二頁参照)のリード
により童謡

藤間流豊和会の舞踊の競演
KBC井上ひさおさんによる童謡合唱

なごやかたに懇親会

懇親たけなわ



話が弾みます



金子会長のあいさつ

福岡市佐賀県人会「平成元
年度定期総会」は、簡井副会
長の開会のことば、永倉名誉

会長のご挨拶ではじまり、
金子宜嗣会長は、
「本日は二百三十三名の出席

近年最高の出席で盛会!!

福岡市 平成元年度定期総会
佐賀県人会
平成元年六月二十四日 KKRはかた

者で、今までで一番大勢の
方々の総会出席であります。
只今、永倉名誉会長からご挨拶
ございました通り、佐賀県
人會もいよいよ盛んになって
参りまして私も今度で八期目
の会長をやるという事で、月
日の早く経つことにビックリ
しております。

私も何も解らないまま永倉
名誉会長から会長を申し受け
「お前だったら若いから少し
は長持ちするだろう」なんて
言われまして既に八年近く経
つ訳でございます。

現在ご承知の通り福岡では
「よかトピア」の開催中で、
人気も上々のようでございます
す。私共もいろんな方々をご
案内して何回か参りますが、
非常に活気の溢れた会場です。
全国の博覧会の中で福岡が一
番良いのではないかとという評
判も聞いております。また今
年は吉野ヶ里ブームに続き、
佐賀で熱気球の世界大会もご

ざいますし、唐
津では世界の
ヨットレースも
開催されると言
う事で、何か明
るいニュースも
たくさんあるわ
けでございます。
佐賀県人會も
出来るだけ若い
会員の方々に入
会して頂いて年
一回の総会であ
まり、度々お会
いする訳ではご
ざいせんがやは
り入会して頂
くことによりま
してお互いの仕
事とか又友人
の付き合いだど
か又遊びの仲間としてでも結
構ではないかと思ひます。

どうか皆様方のご協力を得
ましてこの会が盛会になりま
すように心からお願ひ申し上げ
まして、挨拶に替えさせて
頂きます。」

引きつづき来賓紹介に移り
愛野興一郎前経済企画庁長官
(祝辞) 保利耕輔衆議院議員
(祝辞) 篠田栄太郎県議(祝
辞) 田中久也県議、武藤英治
県議、南原勇一郎市議、宮副



中牟田顧問の音頭で乾杯

陣内孝雄氏再選

参院選 佐賀選挙区

消費税、農政問題、リクルー
ト事件を三大争点に、事実上
の自社対決となった参院佐賀
選挙区選挙は、七月二十三日、
投票開票され、厚い保守地盤に
支えられた自民党の陣内孝雄
氏（五五）が、追い風に乗る
社会党の柴田久寛氏（四六）
や、共産党の平林正勝氏（四
二）無所属の野中久三氏（四
四）を破り再選を果たした。
これで佐賀県での参院選は保
守十八連勝となり、社会党念
願のV1は成らなかった。陣
内氏は当初安全圏とみられて
いたが、自民党農政に反発す
る農業団体の足並みの乱れや、
消費税への不満が予想外に強

保守総力戦で逆風しのぐ 十八連勝喜びもひとしお



参議院議員

陣内 孝雄氏

陣内孝雄氏の略歴
昭和八年八月二十四日生
佐賀中学校・新制佐賀高等学
校・京都大学大学院修士課程
終了
・建設省九州地方建設局局長
・建設省河川局局長
・昭和六十三年四月 参議院
佐賀選挙区補欠選挙当選
・京都大学工学博士

く、かつてない厳しい選挙を
余儀なくされた。しかし終盤
になって強い危機感が陣営を
引き締め、初の議席獲得を目
指して猛追する柴田氏を振り
切った。

再選の陣内氏が抱負

総合農政で近代化を
消費税は見直しが必要

再選を果たした陣内氏は選
挙戦を振り返り「選挙戦で県
内をくまなく回り、改めて佐
賀がすばらしいポテンシャル
を秘めていると実感した。政
治と行政が力を合わせて、ゆ
とりと安らぎのある人間中心
の町づくりを実現したい」と
抱負を語った。

また、苦戦の背景ともなっ
た農政問題については「基幹
産業である農業がうまくいか
ないと商業、その他の人間関
係も崩れる。経済合理主義で
は理解しにくい産業だ」とし
「土地改良だけでなく、道路
改良など総合農政によって農
村集落の近代化を図り、住み
やすい現代的な生活環境を実
現し、若者が住みつき、Uター
ンする集落にしたい」と述べ
た。さらに、消費税について
は「税制改革の一環として重
要な消費税を定着させるため
、十分な検討、見直しが必要」
と語った。

投票率は71・15割

（県選管）

選挙区関心の高さを反映
県選管の発表によると、参
院佐賀選挙区の投票率は
71・15割、比例代表区は71・
14割となった。これは過去十
四回行われた参院通常選挙の
中で低い順から四番目の投
票率となった。

男女別で見ると、男71・05
割、女71・23割で女性がわず
かに上回った。市郡別では、
神埼郡77・83割、多久市が75・
62割、杵島郡75・40割などが
高く、逆に唐津市64・99割、
佐賀市68・09割などが低く、
今回も「郡高市低」の投票率
となっているが、六十三年四
月の参院補選に比べると鳥栖
市で27・42割増えているのを
最高に、各市で10割以上も投
票率が伸びている。

これまでの参院通常選挙で
投票率の最高は五十五年六月
の衆参ダブル選で85・00割。
逆に最低だったのは五十八年
六月の59・99割。県選管は「リ
クルーと消費税問題などで
有権者の関心が高かったた
め」と分析している。

山崎拓 防衛庁長官

宇野内閣に入閣



防衛庁長官

山崎 拓氏

山崎拓衆議院議員（福岡市
佐賀県人会顧問）が、六月二
日発足の宇野内閣の国務大臣
防衛庁長官に就任されました。
佐賀県人の血をうけついで
上に地元・福岡が生んだ政治
家中野正剛を尊敬。実直、堅
物と評され、筋を通す頑固さ
は正に佐賀県人ならではの面
目一如たるものがあります。
早大卒業後、サラリーマン
を経て県議。中曽根運輸相（当
時）の勧めで衆院選に出馬。
自民党公認をもらえず、中曽
根公認を名乗って戦ったが
落選。再挑戦で当選されました。
防衛、エネルギーなど政策
に強い一方、議運理事、官房
長官を務めた経験から国会対
策にも力を発揮。中学時代か
ら続ける柔道は五段で暇をみ

つけては汗を流しておられま
す。
「政治たるもの、目標は総
理・総裁にあつて当然。それ
も実力で頭角を現すのが理
想」と大志を隠さない。
小学校時代は、大平洋戦争
のために母方の里、佐賀県に
疎開され、小城町の晴田小と
岩松小、武雄市の武雄小の三
校に通学。「この間、少年時代
のいろいろな体験が、私の人
格形成に大きく役立っていま
す。このようなわけで佐賀は
ふるさととして、いつも懐し
く思い、そして、郷土の発展
を切実に期待しています」と
語られました。

五十二歳。衆議院当選六回。
福岡一区。

山崎拓氏の略歴

昭和十一年十二月十一日生
昭和三十年 福岡県立修猷館
高校卒業。
昭和三十四年 早稲田大学第
一商学部卒業。ブリヂスト
ンタイヤ株式会社入社。
昭和四十二年 福岡県議会議
員選挙に自民党から出馬、
最年少、最高票の記録にて
当選。
昭和四十四年 衆議院議員選
挙に立候補、四万七千票を
得たが惜敗。
昭和四十七年 衆議院議員選
挙に再び立候補。八万九二
九票を得て初当選。
昭和五十二年 自民党石油問
題調査会事務局長に就任
（衆議院議員二期目）
昭和五十四年 大平内閣厚生
政務次官に就任。
昭和五十四年 衆議院議員選
挙三期目の当選を果たす。
昭和五十五年 鈴木内閣防衛
政務次官に就任（衆議院議
員四期目）
昭和五十八年 衆議院議員連
合委員会筆頭理事（衆議院
議員五期目）
昭和五十九年 内閣官房副長
官に就任。
昭和六十一年 自民党総務局
長に就任。（衆議院議員六期
目）
平成元年六月三日 国務大臣
防衛庁長官に就任。

昭和セントラル株式会社

福岡市中央区天神 4 丁目 1 - 6
電話 (092) 761-6081

福岡市及び近郊在住の佐賀県出身者は大略十五万人だろうといわれています。この多数の人々の中には著名な人が多く各方面で活躍されているので、佐賀県人会の存在は一般的に財政界方面や経済界で最も注目されているところでもあります。この佐賀県人会がいつ頃から組織され運営が始められたか、今では記録がないのと当時活躍された責任者、世話人などの殆どの人々が物故されているので、くわしいことがわかりません。高齢者の話をきくと、明治中期に三夜待ていどの親睦会で発足し、十数名の組織だったようです。その後、まとまった会として華々しく佐賀県人会が開催されたのは大正の初期で、当時須崎で開業されていた医博の溝口喜六先生(久留米大創設者)が中心となられて、有名な東中洲の九州劇場を借りきって挙行されたのが最初だったといわれ、約二〇〇名ぐらいの県友が参集して実に

盛大な行事だったと聞いております。そのあと、二、三回の大会があったようですが、その後は中絶状態にあったようです。終戦後、昭和二十六年に故中島徳松翁を中心に佐賀県人会の再興が話し合われた結果、一般大衆にも呼びかけることにし、翌二十七年春、護国神社頭において鍋島知事ご夫妻をお迎えして約一〇〇〇名の会員が参集、戦没者慰霊祭をかねて極めて盛大に開催されました。当時はいまだ国民の士気奮わず、この種の会合など催されていい時代で、わが佐賀県人会が率先して開催、大いに気を吐きその盛大な光景は参加会員の脳裡に今でも強烈な印象として残っていることでしょう。爾来毎年一回、郷土の知事、県会議長、各市長、佐賀新聞社長などお歴々のご出席を得て大会開催を続け、年とともに盛大さを加えました。この会はもとより同郷人同

福岡市佐賀県人会 のあゆみ

志の親睦をはかり、たがいに助けあい励ましあうことを目的としています。愛郷心に富むわが会は常に後進の若人の就職斡旋を、また育英資金・災害救済金その他の募金に協力したり佐賀県物産品の紹介、斡旋などと、いささか郷土のために寄与した次第であります。

最近、永倉会長就任後、三〇〇名位の出席のもと総会を開催し、新しい活発な動きが続けられていましたが、会員の高齢化につれて若い人々の賛助入会を強く望まれる時代となりましたので、今の強化を目的として佐賀県出身の方々に対しご入会して戴きたく、ここに事情を申し上げて賛同を得て総会へご出席賜わりたいをお願い申し上げます。なお、お知らせで佐賀県ご出身の方がごいますすれば、お誘い下さいますようお願い申し上げます。

末筆ながら歴代の会長・副会長・代表理事(敬称略)の氏名を記載しておきます。

名誉会長 永倉 三郎
会長 中島 徳松
寺崎 秀雄
川崎 力三
江口 繁

(福岡市佐賀県人会事務局)

代表理事

永倉 三郎
金子 宜嗣
中牟田喜兵衛
田中丸善輔
平野 貞一
西村 儀一
本村八洲士
北村 兼而
市村 勝市
中村 常一
山口 忠一
吉田 正勝
中西 林郎
筒井 寅吉
安都間 明
大串 梓
高田 省三
坂井幹太郎
矢島 清
川崎 力三
北村 兼而
中島 儀作
木下 四郎
溝上 嘉幸

トヨワオート福岡株式会社

本社 福岡市博多区竹下2-2-31

代表(092)411-5511



国際姉妹都市

山内町→セバストポール市

ふるさとと首長



山内町
草場重治町長

私達が社会生活の中で色々な人との出会いがあり、その出会いがすばらしい関係に発展して、大きな喜びを味わう事が出来る。その出会いは、昭和58年12月に始まった。佐賀市の「地球市民の会」古賀事務局長様より、アメリカのカリフォルニア州セバストポール市が姉妹都市の相手を捜している。共に「農業の町」として景観も似ている等共通点も多い事から山内町はどうであろうかという事であった。一年間準備期間を置き、昭和60年3月に当時のセバストポール市長夫妻が山内町に来町し姉妹都市友好提携協定を締結し現在に至っている。この姉妹都市締結は、これから双方があらゆる分野で交流を推進して、相互の理解と友情

を深めてお互いの繁栄と幸福を求めると同時にアメリカ合衆国と日本の平和に貢献する事を目的としている。草場町長は「我が町の財産は心と人作である。特に、国際化時代に対応し活躍出来る青少年の育成に力を注いでいく方針である」と。その目的に向って着々と推進している。主な交流事業を列記すると、61年8月草場町長夫妻セバストポール市へ公式訪問。62年3月1日から4月9日までセバストポール市へ友好親善訪問団十二人、63年8月1日から17日迄親善訪問16名来年は、セバストポール市より親善訪問団を迎える計画。草場町長は父子二代の町長として現在三期目(在職十二年目)で、人作町作に邁進中です。



町の人口は、昭和三〇年一三二八人であったが以後逐次減少し、昭和五〇年九三三七人となったが、その後町の住宅政策あるいは民間資本の宅地開発、工業の促進、地場産業の好況等により増加し、現在(平成元年七月一日)は一〇四一一人、世帯数二五二〇となっております。

山内町は、佐賀県の西端の内陸部に位置し、西に陶磁器の有田町、東に温泉の武雄市、北西に臨海都市伊万里市、南は長崎県波佐見町と接し、地勢は、西に急峻な黒髪山系と南東に丘陵地を擁した神六山系の山々からなる盆地状の地形をなしています。町の総面積四〇・七六km²のうち、耕地面積一〇・六三km²、耕地率二六%で、山林原野が全体の五七%を占める農山村です。

本町は豊かな自然に恵まれ、町内の山々からの流水は松浦川の源流をなし、唐津湾へ注いでいる。気象は、平均気温が一五度、年間降雨量が二〇〇mm前後で近隣地域では比較的高温が低く降雨はやや多い方です。

観光地としては、北西に県立自然公園の黒髪山、青螺山(五九二m)地域と南東部に町の公園神六山地域があります。いずれも車で頂上近くまで行くことができ、黒髪山は植物の宝庫で奇岩・景勝の地です。神六山は近年公園整備が進み、展望台からの星空の観察、夏のキャンプと一年を通して楽しめます。

文化財としては、国の天然記念物のカネコシダ、史跡の百間窯跡、県の民俗芸能のかんこ踊り等があります。現在全国的な傾向である伝統芸能の後継者不足で、古来より伝播されてきた「浮立」が衰退していますが、本町では数年前より「鎮守の祭り」として復活し年に一回町内の各地区の伝承芸能「浮立」を発表しています。例年秋に開催し、多数の町民及び町外からの見物人があります。

学校教育については、小学校二校、中学校一校で児童、生徒数は、一四一三人です。

二十一世紀に向けて活躍する人材育成のため、米国のセバストポール市との姉妹都市を締結し又、英語の先生として英語圏の方を招き中学校で活躍してもらっています。

13代今右衛門氏が
『人間国宝』に

文化財保護審議会(斉藤正会長)は三月二十四日、色鍋島の十三代今右衛門氏(六二)―西松浦郡有田町―を『人間国宝』(重要無形文化財保持者)に指定するよう答申しました。県内では唐津焼の故・中里無庵さん(昭和五十二年)に次いで十三年ぶり、二人目です。東京美術学校現東京芸大)工芸科卒。昭和五十年、父十二代目の死去で十三代目を襲名、新技法を加え独自の世界を創り出されています。

佐賀市が市制100年

佐賀市が四月一日、市制百年を迎え、記念パレードなどが行われました。西村市長が『先人たちの知恵に学び、次の世代に受け継ぐ』とあいさつ。約七千五百人が市中进行しました。前日には松原川畔で記念植樹があり、姉妹都市の米国ウォーレン郡・グレンズフォールズ市のフランシス・オキーフ市長も参加しました。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

『チャレンジ100』

県下の企業十社が、十年後に売り上げ『百億円』を目指し『チャレンジ100』に参加しました。県技術市場交流プラザのメンバーで、『ロマンをかける』と張切っています。十社は▽華山(有田町)▽葉隠素麵(佐賀市)▽三龍機工(同)▽竹下製菓(小城町)▽宮地印刷(佐賀市)▽中村電機製作所(同)▽コトブキ

『新ふるさと旋回』出版

佐賀新聞社が四月末、『新ふるさと旋回』を出版しました。空から撮った郷土の写真を中心にした本で、七年ぶりに全面撮り直したものです。B4判、二八八頁。美粧ケース入り。定価一万五千元(税込み)。

有田陶器市に
67万人

四月二十九日から五月五日まで西松浦郡有田町で開かれた『有田陶器市』の人数は六十七万人で、総売上高は十四億八千五百万円に達しました。雨にたたられた前年実績を上回ったものの、目標の七十万人、十五億円にはわずかに及びませんでした。

唐津曳山が
博多どんたくに

唐津くんちの曳山三台が、五月一日、福岡市のアジア太平洋博覧会『唐津市の日』行事に参加。さらに三日の『博多どんたく港まつり』にも出場しました。二番山・青獅子、三番山・武田信玄の兜で、それぞれの曳子は自慢の法被を着込み、おはやしにのって博覧会場内、福岡の道を『エンヤ、エンヤ』の掛け声とともに練り歩きました。

唐津曳山の
脇山名譽総取締死去

前唐津観光協会会長で、唐津曳山取締会名誉総取締の脇山英治氏が六月二十二日、結腸腫瘍のため亡くなりました。七十七歳。脇山総合食品、脇山冷凍食品など五社の社長。木綿町生まれで、経済活動のかたわら、唐津市の観光発展にも尽力されました。

県農協中央会長
久野二二氏死去

県農協中央会長の久野二二氏(八一)が六月十二日、胃がんのため亡くなりました。杵島郡有明町出身で、白石地区農協長などを経て、昭和五十七年から中央会長。農業が多難な時代、温和な人柄と実行力で県農業界をまとめてこられました。後任には県園芸連会長の犬塚清次郎・鹿島市農協長が内定しています。



新首長

▽藤津郡塩田町町長(三月八日、一一)
川原福己氏(六四) 無新
前町収入役(町税務課長、町民課長) 青年学校卒、塩田町北志田
▽東松浦郡厳木町町長(四月二十五日、一一)
山田秀明氏(六七) 無前③
全国鉱業市町村協議会理事、唐津東松浦林業協会会長、県北部林業協会会長、東松浦競艇組合長、東松浦郡町村会長。日大専門部卒。厳木町牧瀬。



九州自動車道ルート

九州地方建設局は八月十七

日、西九州自動車道の概略ルートを発表しました。これまで未決定だった唐津市―伊万里市―佐賀市間は伊万里市の市街地寄り、北松浦半島は海岸沿いに回るルートになり、総延長も二十キロ延び百五十キロになる計算です。同自動車道は高規格の自動車専用道路で、地元要望を採り入れたルート決定で広域観光ルートが実現することになりました。全線開通までには二十年以上かかる見通しです。

センバツ：佐商、竜谷
夏の甲子園：佐商

『球春』を告げる春のセンバツには、本県から佐賀商と竜谷の二校が出場しました。佐賀商は一回戦で敗れましたが、竜谷は準々決勝(ベスト8)まで勝ち上がり、県民を歓喜させました。また、夏の甲子園には佐賀商が出場。一回戦は勝ったものの、二回戦で神戸弘陵に敗れました。しかし、県下の高校野球のレベルが着実に上がっていることを印象づけました。

10月から再公開
吉野ヶ里遺跡



この春、邪馬台国時代のクニが出土、全国の注目を集めた吉野ヶ里遺跡(神埼郡神埼町、三田川町)が十月から再び公開されます。物見やぐら、高床式倉庫、竪穴式住居なども復元される予定で、再び吉野ヶ里フィーバーが起るものと予想されます。

吉野ヶ里遺跡は二月末から五月七日まで公開。その後は遺構の保存のため埋戻され、未調査部分の試掘が続けられました。公開中の人出は百五万五千人(県教委調べ)に達

し、遺跡の出入としては驚異的な数字を記録、福岡市で開催中のアジア太平洋博覧会の客足に影響を与えたといわれたほどです。しかし、八月十七日には落雷で調査員の一人が亡くなるという痛ましい事故が起り、関係者を残念がらせています。

一方、遺跡の保存については、国の史跡指定が確定になり、二十二号は文化庁が買い上げを決め、平成二年度予算に要求することになりました。周辺整備については、香月知事が県議会で『国営公園化を強く働きかける』と表明しました。国営公園は建設省の事業で、広域レクリエーションを目的にした公園は、福岡市『海の中道海浜公園』などがあり、文化遺産の活用が対象なのは『飛鳥歴史公園』(奈良県、四十七号)一か所だけです。

決定までには、遺跡が高い評価を受け、国民の間に認識が広がることなどが求められるそうです。さらに、最終的には『閣議決定』事項なので、中央に対する働きかけも重要といえます。

〔佐賀県内の催し〕

▽9月3日『ミニガタリンピック(鹿島市)』▽同日『手作りイカダレース大会(塩田町)』▽10日『天子・鎮守神社秋祭り(鹿島市)』▽13・17日『唐津焼展(唐津市)』▽15・17日『古湯映画祭(富士町)』▽21・25日『白石焼陶器まつり(北茂安町)』▽23日『宇土手荒踊(武雄市)』
▽10月6・9日『全日本一般男子ソフトボール大会(佐賀市)』▽15日『市川天舞舞立(富士町)』▽同日『三重獅子舞(諸富町)』▽18日『多久聖廟秋季祭(多久市)』▽19・20日『相知くんち・大名行列(相知町)』▽22・24日『伊万里トントン祭り(伊万里市)』▽22・23日『武雄温泉秋祭り・流鏑馬(武雄市)』
▽11月1・3日『お茶と温泉まつり・おいらん道中(嬉野町)』▽1・5日『藩政秋祭り(伊万里市)』▽2・4日『唐津くんち(唐津市)』▽18・27日『熱気球世界選手権大会(佐賀市)』▽23・26日『茶わん祭り(有田町)』

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

(佐賀郡久保田町出身)

証拠と考えられる。五世紀前半に築造されたと推定される浜玉町の谷口古墳は畿内地方の古式の古墳に相通じるものとして注目され、碧玉製の石釧を出土していることから、大和朝廷の勢力がこの地方に及んでいることを物語っている。これは朝鮮半島との関係が複雑化して、この地方が政治的に重視されていた時代であつたからと考えられる。弥生時代から農耕が発達していたと考えられる佐賀平野北部にある佐賀市金立町の銚子塚前方後円墳も、壺形土師器等から五世紀前半を下ることはないと推定される。このように佐賀県地方が大和朝廷の勢力圏に包含された時期は四世紀後半であつたと考えられる。

の川上に荒神有り、往來の人の半死に、半殺、茲において、県主等の祖、大荒田、占り、時に土蜘蛛、大山田女狭山田女、二女子有りて云えらく、下田村の土を取りて、人形馬形を作りて、此の神を祭祀なば必ず応へ和むこと有らんと、大荒田、即ち其の辞に争ひ、此の神を祭り、神此の祭を飲け、遂に応へ和みき茲において大荒田云えらく、此の婦は是の如く実に賢女なり、故に賢女を以て、国名とせんと欲す。因りて賢女郡と曰う、今佐賀郡と云う。その首長が佐嘉県主として大和朝廷に服属していたらう。大荒田は祭祀権をもつ首長であつただらう。

一、討伐説、土蜘蛛がいて皇命に従わず誅滅されたという説。小城郡、松浦郡加周里杵島郡嬬子山の三ヶ所

二、反抗後の服従説。土蜘蛛がいて反抗し後にわびて許された説。藤津郡能美郷の一

三、従属説。荒神アラガミがあつたが天皇巡狩の時和乎したと云う神埼郡、又狗が出て吠えたが一産婦を見て止んだという

養父郡、天皇行幸の時この村にお泊りになったが非常に安穩であつたという神埼郡三根郷の三所

四、積極的従属説。鳥屋をつくり、雑鳥を養ひ、馴し朝廷に貢上した養父郡鳥櫟郷、天皇巡狩の時川の渡瀬に船をつくりそなへて漕ぎ渡したという養父郡日理郷、天皇巡幸の時に諸氏挙げて参集し供奉した神埼郡船帆郷の三所である。

宣化天皇二年、大伴狹手彦が任那へ渡つたとされる時は、弟日姫子（松浦佐用姫）の伝説がうまれた、『肥前風土記』によると武少広国押楯の天皇の御世、大伴狹手彦の連を遣して、任那の国を鎮め、兼ねて百濟の国を救へとの命により、篠原の村に滞在中、弟日姫子を妻に迎えた。美人で特に人間に絶れ、夫が任那に出ての日、鏡を妻に送つた、妻は悲しみて啼きつつ、栗川を渡る時、与る所の鏡の緒が川に沈んだので鏡の渡りと名づく、又夫がいよいよ船を発して任那に渡りし時、妻、山に登りて、褶を用いて振り招く因りて褶振の峯（鏡山）と名

づく」とある。万葉集にも歌が詠まれている。

遠つ人松浦佐用比売夫恋に領巾振りしより負へる山の名この様に松浦地方は伴氏ツグの統属化にあり地方豪族が軍事的職務に就き大陸との重要な役割を果たしていたが、欽明天皇の時代になると新羅の軍事的圧力のため、同二十三年（五六二年）任那は滅亡した（推古天皇十年（六〇二年）に來目皇子を將軍とする新羅征討軍が派遣されたが、『肥前風土記』に三根郡物部郷の事が記されている。

「此の郷の中に神社があり、名を物部経津主の神と云う、來目皇子を將軍と爲して新羅を征伐せしもう時に、皇子勅を奉りて、筑紫に至り、及ち物部の若宮部をして、社を此の村の北に立てて、其の神を鎮い祭らしめ給いき、因りて物部郷と云う」とある。又漢部郷については、「來目皇子、新羅を征伐せんとして、忍海漢人に勅せて、將て来て、此の村に居えて、兵器を造らしめたまいき、因りて漢部郷という」とある。若宮部に命じて経津主神を祭つたのは、三養基郡北茂安町板部の物部社であろう、忍海漢人は大和国

葛城郡から率いられてきた帰化人で、かれ等が定着した漢部郷は現在の綾部であろうか。七世紀の始め頃新羅征討を機に、朝廷の率いる神部、伴造などが此の地方に進出、定着していった事を物語る。

県内における先土器時代の石器の発見は、小城郡三日月町東分下古賀、及び大塚山の中段段丘の地層から発見されたサヌカイト製の握槌、握斧をはじめ、東西松浦郡に多い刃器文化の遺跡は全県下の山麓、伊藤地帯に及んでいる。中でも伊万里市二里町川東の平沢良遺跡は一一三個の石核をとまなび石刃ナイフ形刃器、削器、搔器、鋸器等が発掘された注目の遺跡である。又黒曜石、サヌカイトの豊富な多久本町西ノ原の三年山遺跡、茶園原遺跡が代表的なものである。打製石器の材料はおもに黒曜石やサヌカイトであるが九州地方でもっとも不純物の少ない良質の黒曜石を多量に産出するのは伊万里市の腰岳である。

縄文遺跡は県下に広くわたっており、唐津市西唐津港海底遺跡の隆線文系土器と、

東松浦郡玄海町値賀の今村遺跡にみる爪形文土器とは大陸の櫛目文土器の流れをくむものとして注目されている。又唐津市佐志笹ノ尾、八幡西、馬場川、三日月町龍王等に組織痕土器が発見され、布目の圧痕があることから織布の存在が確認され、わが国における織物の使用、織布の製造が縄文晩期に九州で始まったことを物語る貴重な資料である西有田町山本の坂ノ下縄文遺跡からは、編み籠の残片が発見され、原形を保った、ドングリ、シイの実、を入れた食糧貯蔵穴九個が発見されている。利器としては石鏃、石斧、石槍、石匙、石皿、磨石等が県下各地で発見され、針、鋸、釣針等の骨角器もみられる。西唐津海底遺跡からは骨製の針、イノシシの牙で作った曲玉の装身具、魚網の石錘等が発見され、又唐津市枝去木女山の遺跡から縄文晩期の土器に縹痕のついたもの、炭化米等発見されるところから稲の栽培も限られた地域でおこなわれていたと考えられる。

神埼郡東脊振村三津永田遺跡の甕棺の中から布片が発見され輸入品とみられる絹布も

発見され又貝輪を腕にはめた人骨も数体発見された。首のまわりから数十個の管玉と二〇〇個余りの小玉も発見されている。金属器として漢代銅鏡である流雲文帶五獸鏡や鉄製素環頭太刀、鉄製腕輪等が発見されている。県下各地から副葬品として多くの鉄器が発見されている。とくに注目すべきものとして唐津市柏崎石蔵で発見された触角式柄頭銅剣と、同市宇木汲田で発見された多刃細文鏡である。前者は触角に似た形の柄頭をもつ細形銅剣であり日本では勿論アジアでも珍しい形のもので、これに似た柄頭はシベリア、中央アジア、北欧イギリス等の青銅器に見られ、スキタイ文化の系統に属するものと考えられる。後者はわが国では弥生遺跡四ヶ所からの出土例があるだけで日本以外では、シベリア、中国北東部、朝鮮半島にだけ分布し、中国の戦国時代文化と北方ユーラシア大陸のスキタイ文化の影響を受けた匈奴文化の所産と考えられる。

中国の戦国時代文化と北方ユーラシア大陸のスキタイ文化の影響を受けた匈奴文化の所産と考えられる。

天智天皇四年（六六五）に筑紫の大野城とともにきずか

れた。同年秋八月に、達率僣
礼福留、達率四比福夫を筑紫
国に遣わして大野および椽に
城を築く。この基肆城は朝鮮
式山城と云われ、三養基郡基
山町にある、大宰府の正面に
水城、右側に大野城、左側背
に椽城をきざいた事になる。
谷を囲む周辺の高い山丘に土
塁、石塁をめぐらし谷口を大
石垣で遮断して水門を設ける
半月型の城である。城内には
兵器や穀類を貯蔵スル倉庫群
があり難民兵士を收容出来る
広さをもっていたと云われる
現在の遺跡は約五キロメート
ルに及ぶ土塁と門趾四ヶ所が
残っている。倉庫等の礎石址
も二九ヶ所発見されており、
その一部から炭化米も検出さ
れている。標高は四一四米で
七世紀後半における対新羅政
策としての築城を知る貴重な
遺跡である。

ていく方法である。五ヶ所は山が推定されるが他は明でない。松浦地方からの烽は鏡山で集約され、両子山に送られ小城郡の両子山では南の多良岳からの知らせも受け佐嘉郡へ。さらに神埼郡の日隈山、養父郡の旭山、基肆城、大宰府へと連絡されたであろうと推定される。

肥前の産物

風土記によれば唐津市相賀(逢鹿駅)、駅の東之海に鮑螺、鯛、海藻、海松、あり。呼子町大友、小友(登聖駅)駅の東西之海に鮑、螺、鯛、雑魚、海藻、海松、あり。大島・馬渡島(大家島)右同様。五島列島は檳榔、木蓮子、木蓮子、黒葛、簞、篠、木綿、荷、苧、あり。海には鮑、螺、鯛、鯖、雑魚、海藻、海松、等有りて長鮑、鞭鮑、陰鮑、羽割鮑等は天皇に献上することあつたと云う。

でいく方法である。五ヶ所は山が推定されるが他は明でない。松浦地方からの烽は鏡山で集約され、両子山に送られ小城郡の両子山では南の多良岳からの知らせも受け佐喜郡へ。さらに神埼郡の日隈山、養父郡の旭山、基肆城、大宰府へと連絡されたであろうと推定される。

(以下次号)

新会員ご紹介

(敬称略)氏名 連絡先(電)
電話番号 職業 出身地の順

八頭司 英

▽(株)大林組▽

小城郡牛津町

竹森 徹

▽昭和トラ

ベアーズクラブ▽唐津市

鮎川 清明

▽九州電力(株)▽

佐賀市

木下 三郎

▽JR九州(鳥

栖駅)▽東松浦郡相知町

福田 熊雄

▽藤津郡

嬉野町

諸江 正哉

▽応用地

質(株)▽小城郡小城町

杉山 秀彦

▽

(株)杉山組▽佐賀郡諸富町

このごろ
私は

「赤とんぼ共和国」を建国

童謡唱歌をおして青
少年育成人間愛運動を
はじめました。

藤井 秀重さん

昭和47年にふるさと佐賀県
杵島郡白石町をあとにして福
岡市に住み今年で17年の歳月
が過ぎ去ろうとしています。
当初右も左もわからずこの大
都会で暮らしているの不安に
思ったこともありましたが、
住めば都で福岡市もなかなか
よい街です。昭和62年には城



南区茶山に永住を決意し私の
小さな城を建てました。
昭和54年に設立した結婚式
の司会・演奏ビデオ・テレビ・
ラジオCMの(株)秀宝も本年10
周年を迎えることになりました。

これを記念し(株)エアフォー
ス・Iを関連会社として設立
しTV・ラジオ番組・イベン
ト企画関係を主力に営業する
ことになりました。また、「K
BCラジオ歌のおじさん」と
上壽夫さん(唐津市出身)と
一緒に「赤とんぼ共和国」を
建国し童謡唱歌をおしての
青少年育成人間愛運動をはじ
めました。10月1日(日)福岡市
福商会館にて建国コンサート
を開催致します。是非ご参加
下さい。

今日までをふりかえってみ
ますといつも心の中に「ふる
さと佐賀県人としての誇り」
があったように思います。だ
から頑張ることができたのだ
と思います。

最近1回の県人会は私に
とって楽しみとなり、いつの
間にか私の大切なスケジュー
ルのひとつになつてしまいま
した。

不思議な力をもっている福
岡市佐賀県人会に今後大いに
協力していきたいと思えます。

(株)秀宝代表取締役、(株)
エアフォース・I取締役、赤
とんぼ共和国大統領補佐官

白石町出身

KBCラジオ

歌のおじさん

井上 壽夫さん



元日本合唱協会員
元ミュージカル・アカデミー
団員

アカデミー時代は、TV・
ステージ等で活躍
ソビエト公演にも参加。
ミュージックフェア・歌は
友だち・NHK教育TV・
CM等に出演。又「屋根の
上のバイオリン弾き」等、
数多くのミュージカルにも
参加。

現在は、故郷である、福岡に
在住し、KBCラジオ歌のお
じさんとして放送で童謡唱歌
を歌い、又、KBC朝日文化
センターのコーラス、PTA
コーラスの指導を行なう一方、
福岡現代劇場の演劇にも参加
している。赤とんぼ共和国
音楽大使。

編集デスク

平成元年度定期総会の報告
号をおとどけたいします。

「福岡市佐賀県人会のあゆ
み」は総会の席上配付しまし
たが、新会員の勧誘に役立て
ていただく為に、掲載いたし
ました。特に若い方々の勧誘
をよろしくお願いいたします。
会員の方がそれぞれ一人ずつ
入会を勧めていただきますと
会員増が叶えられます。

「肥前風土記」の記事を頂
きました古賀利治さん、なら
びに「佐賀県だより」の記事
提供にご協力下さいました、
佐賀新聞社にお礼申し上げ、
県人会の皆さんのご健勝をお
祈りいたします。(T)

会報むつごろ

平成元年8月31日 発行

福岡市佐賀県人会

(発行責任者 溝上 嘉幸)

福岡市中央区天神4丁目1-6

昭和セントラルビル内 (〒810)

☎ 092-761-8253

制作 (株)タナカ製本印刷所

☎ 0955-23-5214